

領域・目標から書き出した「目標を構成する要素」

領域	項目	目標	目標を構成する要素
①消費者市民社会の構築に関する領域	ア	自らの消費が環境、経済、社会及び文化等の幅広い分野において、他者に影響を及ぼし得るものであることを理解し、適切な商品やサービスを選択できる力	1) 自らの消費が与える他者への影響の理解 2) 適切な商品やサービスの選択
	イ	持続可能な社会の必要性に気づき、その実現に向けて多くの人々と協力して取り組むことができる力	1) 持続可能な社会の必要性の理解 2) 多くの人々との協力的な取組・態度
	ウ	消費者が、個々の消費者の特性や消費生活の多様性を相互に尊重しつつ、主体的に社会参画することの重要性を理解し、他者と協働して消費生活に関連する諸課題の解決のために行動できる力	1) 消費者や消費生活の特性や多様性の相互尊重 2) 主体的な社会参画の重要性の理解 3) 他者と協働して諸課題解決のための行動
②商品等やサービスの安全に関する領域	ア	商品等やサービスの情報収集に努め、内在する危険を予見し、安全性に関する表示等を確認し、危険を回避できる力	1) 内在する危険の予見 2) 危険の回避
	イ	商品等やサービスによる事故・危害が生じた際に、事業者に対して補償や改善、再発防止を求めて適切な行動をとることができる力	1) 事故・危害発生時の事業者への適切な行動
③生活の管理と契約に関する領域	ア	適切な情報収集と選択による、将来を見通した意思決定に基づき、自らの生活の管理と健全な家計運営をすることができる力	1) 適切な情報収集と選択・決定 2) 自らの生活管理と家計運営
	イ	契約締結による権利や義務を明確に理解でき、違法・不公正な取引や勧誘に気づき、トラブルの回避や事業者等に対して補償、改善、再発防止を求めて適切な行動をとることができる力	1) 契約締結による権利・義務の理解 2) 違法・不公正な取引・勧誘によるトラブルの回避 3) 違法・不公正な事業者への適切な行動
④情報とメディアに関する領域	ア	高度情報化社会における情報や通信技術の重要性を理解し、情報の収集・発信により消費生活の向上に役立てることができる力	1) 情報や通信技術の重要性の理解 2) 情報の収集・発信による消費生活の向上
	イ	情報、メディアを批判的に吟味して適切な行動をとるとともに、個人情報管理や知的財産保護等、様々な情報を読み解く力を身に付け、活用できる力	1) 情報・メディアへの批判的な関わりと適切な対応 2) 個人情報管理や知的財産保護等の理解 3) 様々な情報の読解と活用

教科横断的な消費者教育が育むべき力の育成のための指導計画【道徳】 (平成26年度版)

北海道教育大学附属函館中学校

領域	項目	目標	目標を構成する要素	道徳
①消費者市民社会の構築に関する領域	ア	自らの消費が環境、経済、社会及び文化等の幅広い分野において、他者に影響を及ぼし得るものであることを理解し、適切な商品やサービスを選択できる力	1) 自らの消費が与える他者への影響の理解 2) 適切な商品やサービスの選択	1) 2(6) 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。 4(2) 公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。
	イ	持続可能な社会の必要性に気づき、その実現に向けて多くの人々と協力して取り組むことができる力	1) 持続可能な社会の必要性の理解 2) 多くの人々との協力的な取組・態度	1) 4(2) 公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。 4(8) 地域社会の一員としての自覚をもち郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。 4(9) 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。 4(10) 世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。 2) 2(2) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対して思いやりの心をもつ。 2(3) 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。 2(5) それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。
	ウ	消費者が、個々の消費者の特性や消費生活の多様性を相互に尊重しつつ、主体的に社会参画することの重要性を理解し、他者と協働して消費生活に関連する諸課題の解決のために行動できる力	1) 消費者や消費生活の特性や多様性の相互尊重 2) 主体的な社会参画の重要性の理解 3) 他者と協働して諸課題解決のための行動	1) 2(4) 男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。 2(5) それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。 2) 1(3) 自立の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。 4(2) 公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。 4(4) 自分が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。 3) 2(2) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対して思いやりの心をもつ。 2(3) 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。 2(5) それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。
②商品等やサービスの安全に関する領域	ア	商品等やサービスの情報収集に努め、内在する危険を予見し、安全性に関する表示等を確認し、危険を回避できる力	1) 内在する危険の予見と危険の回避	
	イ	商品等やサービスによる事故・危害が生じた際に、事業者に対して補償や改善、再発防止を求めて適切な行動をとることができる力	1) 事故・危害発生時の事業者への適切な行動	
③生活の管理と契約に関する領域	ア	適切な情報収集と選択による、将来を見通した意思決定に基づき、自らの生活の管理と健全な家計運営をすることができる力	1) 適切な情報収集と選択・決定 2) 自らの生活管理と家計運営	2) 1(1) 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制を心掛け調和のある生活をする。
	イ	契約締結による権利や義務を明確に理解でき、違法・不公正な取引や勧誘に気づき、トラブルの回避や事業者等に対して補償、改善、再発防止を求めて適切な行動をとることができる力	1) 契約締結による権利・義務の理解 2) 違法・不公正な取引・勧誘によるトラブルの回避 3) 違法・不公正な事業者への適切な行動	
④情報とメディアに関する領域	ア	高度情報化社会における情報や通信技術の重要性を理解し、情報の収集・発信により消費生活の向上に役立てることができる力	1) 情報や通信技術の重要性の理解 2) 情報の収集・発信による消費生活の向上	
	イ	情報、メディアを批判的に吟味して適切な行動をとるとともに、個人情報管理や知的財産保護等、様々な情報を読み解く力を身に付け、活用できる力	1) 情報・メディアへの批判的な関わりと適切な対応 2) 個人情報管理や知的財産保護等の理解 3) 様々な情報の読解と活用	2) 4(1) 法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。

※中学校学習指導要領(平成20年3月告示)の道徳における「第2 内容」から抽出した。